校長より

新潟県立正徳館（しょうとくかん）高等学校のホームページを御覧いただき、ありがとうございます。
本校は、平成17年に県立与板高等学校と県立寺泊高等学校を統合し設立され、今年度で創立19年目を迎える全校で３学級の全日制普通科高校です。
正徳館高等学校は長岡市与板町にあり、江戸末期の名僧良寛が足繁く訪れ、信濃川水運の核として栄えた城下町です。
本校の特色としては、生徒の５年後、10年後を見据えて学校設定教科「キャリアガイダンス」を実施するなど、キャリア教育を体系的に実施しています。また、地域の御協力をいただき、２年生全員でインターンシップを実施しています。
生徒一人ひとりを大切にすることを念頭に置いたこれまでの取組により、令和４年度には、就職希望者は全て内定をいただいております。。
このホームページを、正徳館高等学校についての理解を深めるために、本校に入学を希望される皆さん、ゆかりのある方々、関心のある方々から活用していただければ幸いです。
最後に、この度策定した本校のスクール・ミッションを御案内します。
【地域に学び、地域とつながり、郷土を愛し、郷土を支える人材を育成する学校】
・地域と連携したキャリア教育をとおして、社会人基礎力を育み、豊かな人間性や社会性を備えた人材を育成する。
・小規模校の利点を生かしたきめ細かな指導と支援をとおして、自分の可能性を信じてチャレンジする生徒を育成する。
・地域に学び、地域とつながり、郷土を愛し、郷土を支える人材を育成する。

令和５年４月１日
新潟県立正徳館高等学校
校長　羽豆　拓夫

教育理念

１　「基礎学力の定着と向上を通して、学ぶ意義を再発見させる」ことを目指します。
　１・２年生は、英語、国語、数学において、少人数でじっくり学べる授業を行います。２年生からは、大学進学、専門学校進学、就職等、各自の進路希望に応じて科目選択ができます。また、各教科においてICTを活用しながら、基礎学力の確実な定着を図ります。

２　「規律ある生活態度と責任ある行動を育成する」ことを目指します。
　本校は、日常生活の過ごし方を大切にし、あたり前のことがあたり前にできるよう、「挨拶」、「服装」、「時間厳守」の３つを中心に、規範厳守の生徒指導を行い、規律ある生活態度の育成とともに、社会に通じる常識の涵養を図っています。

３　「豊かな人間性を育て、自らの進路を主体的に考えさせる」ことを目指します。
　人間性は、その人の作法（マナー）と言葉遣いに現れます。そして、作法、言葉遣いは、人との触れ合いの中で磨かれます。本校では、「地域貢献活動」、「保育・福祉実習」、「インターンシップ」、「修学旅行」などの多くの体験学習を取り入れ、自身を見つめ直す貴重な機会としています。

校名の由来

最後の与板藩主「井伊直安」公は、戊辰戦争で荒廃した与板の復興を願い藩校「正徳館」を再興しました。この「正徳館」は、身分を問わず学問を志すものなら誰でも入学を許し、広く学問の門戸を開き、幕末の風雲を生き抜く有為な人材の育成に努めました。これが校名の由来です。